

資料

広島から
地方
創生！



中山間地域の振興に向けた取組について

平成31年2月5日

広島県中山間地域振興協議会

I 広島県中山間地域振興計画 (平成27～32年度)

《目指すべき中山間地域の姿》

将来に希望を持ち、安心して心豊かに、
笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

【施策の柱】



【推進体制】



Ⅱ 平成31年度当初予算案

H31当初予算案 (H30年度2月補正 5.3億円を含む)

86.3億円 (H30 85.3億円, 1.0億円増)

※H29年度2月補正を含む

【施策の柱】

人づくり 3.5億円 (H30 2.0億円, 1.5億円増)

仕事づくり 55.7億円 (H30 56.7億円, 1.0億円減)

生活環境づくり 27.0億円 (H30 26.6億円, 0.4億円増)

Ⅲ 施策ごとの主な事業

ひと

■多様な力でつながる 人づくり

(主な事業)

- ① ひろしま里山・人材力加速化事業 (30百万円)
- ② ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト (19百万円)
- ③ ひろしまスタイル定住促進事業 (98百万円)

3.5億円

《新しい動き》

- ▼ チーム500
- ▼ UIJターン

しごと

■夢をカタチにできる 仕事づくり

(主な事業)

- ① チャレンジ・里山ワーク拡大事業 (34百万円)
- ② ひろしま農業創生事業 (85百万円)
- ③ 観光地ひろしま推進事業 (146百万円)

55.7億円

《新しい動き》

- ▼ サテライトオフィス
- ▼ マーケットインから生産拡大へ

くらし

■安心を支える 生活環境づくり

(主な事業)

- ① 地域医療介護総合確保事業 (580百万円)
- ② 生活交通確保対策事業 (471百万円)
- ③ ひろしまの森づくり事業 (996百万円)

27.0億円

《新しい動き》

- ▼ 医師の確保

■ 地域づくりの輪が広がり、里山の資源を生かした新しい活動が始まっています

（（ひろしま さとやま未来博2017）をきっかけに、中山間地域の課題解決をリードする人材プラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の登録者が大きく拡大
 中山間地域の課題解決に取り組む自主的・主体的な活動が広がるとともに、里山の資源を生かして新しい価値の創造につなげる活動が活発化

【里山の資源を生かした新しいビジネスの展開など】

空き家等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 里山で空き家を活用した柿渋発信の拠点づくり ➢ お寺をリノベーションしたカフェの開業
休耕田の活用	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 休耕田を活用した和綿栽培とアクセサリー加工・販売 ➢ 耕作放棄していた茶畑を再生し、ブランド茶を復活
特産品の開発	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域特産品ルバーブの販路拡大のため新商品の開発 ➢ 厄介者扱いされていた海藻(アカモク)を使った特産品の開発
景観の活用	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 棚田百選に選ばれた景観を見渡せるカフェの開業 ➢ 国登録有形文化財の建物群の保存再生で、再び人が集まる拠点づくり
鳥獣害対策	<ul style="list-style-type: none"> ➢ シカ肉のペットフード化・販売事業化 ➢ 獣害駆除のシカやイノシシの皮をなめし革にした小物のブランド化

【ひろしま里山・チーム500(ゴーマルマル)】

設立日	平成28年12月
登録者	H28: 70人 → H30: 289 人



ルバーブを活用した新商品の開発



和綿アクセサリーの加工・販売

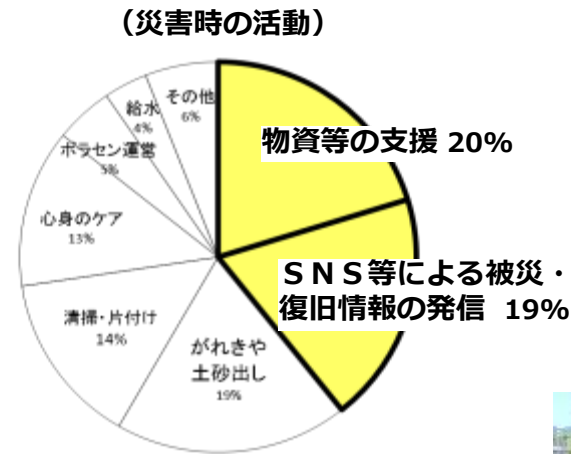
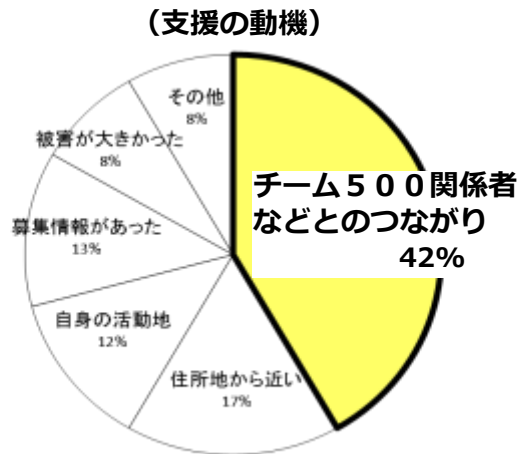


井仁の棚田を見渡せるカフェ

災害支援の状況

平成30年7月の豪雨災害では、500のメンバーが地元のボランティアセンターの自主的な立ち上げや運営に関わり、500のつながりから、他のメンバーが物資の支援や、SNSを通じた被災・復旧情報の発信・拡散等の支援を行うなど、危機時においても、人のつながりが地域の支援活動に大きく貢献

《500メンバーによる災害時の支援》



(支援活動に参加した500メンバーのコメント)

- 情報がなく、みんなすごく不安がっていたので、自らボランティアセンターを立ち上げ、SNSで被災状況の情報を発信して支援者を求めた。
- 1人の力では限界があるが、500関係者など、応援をしてくれる仲間が3人、4人と増えてくると大きな力になり、助かった。



呉市倉橋町での支援活動

■ 若い世代のUターン希望者が大きく伸びています

平成26年に東京(有楽町)に開設した「ひろしま暮らしサポートセンター」では、若い世代を中心とした移住相談が大きく増加し、都道府県の「移住希望地域ランキング」は、2年連続で4位にランクアップ

中山間地域では、30代、40代の移住者が地域の伝統行事を支え、独自の企画でまちづくりに関わる動きも増加

【年代別移住相談者の割合】

H29 相談件数 **2,613** 件

20代まで	19.3%
30代	43.4%
40代	25.3%
50代	11.3%
60代以上	0.7%



ひろしま暮らしサポートセンター



井上 明さん(宮崎→呉・御手洗)



トム宮川コールドンさん/宮川真伊さん
(東京→呉・御手洗)



吉宗五十鈴さん(東京→世羅)

移住希望地域ランキング

ふるさと回帰支援センター
アンケート調査

● 広島県は 2年連続で4位 にランクアップ

平成25年

順位	県名
1位	長野県
2位	山梨県
3位	岡山県
4位	福島県
5位	熊本県
6位	高知県
7位	富山県
8位	群馬県
9位	香川県
10位	鹿児島県
11位	栃木県
12位	新潟県
13位	山口県
14位	島根県
15位	大分県
16位	茨城県
17位	石川県
18位	福井県
19位	千葉県
20位	北海道

平成26年

順位	県名
1位	山梨県
2位	長野県
3位	岡山県
4位	福島県
5位	新潟県
6位	熊本県
7位	静岡県
8位	島根県
9位	富山県
10位	香川県
11位	石川県
12位	千葉県
13位	群馬県
14位	秋田県
15位	山口県
16位	長崎県
17位	茨城県
18位	広島県
19位	高知県
20位	和歌山県

平成27年

順位	県名
1位	長野県
2位	山梨県
3位	島根県
4位	静岡県
5位	岡山県
6位	広島県
7位	高知県
8位	秋田県
9位	大分県
10位	宮崎県
11位	富山県
12位	長崎県
13位	香川県
14位	山口県
15位	新潟県
16位	福島県
17位	熊本県
18位	岐阜県
19位	鹿児島県
20位	和歌山県
20位	三重県

平成28年

順位	県名
1位	山梨県
2位	長野県
3位	静岡県
4位	広島県
5位	福岡県
6位	岡山県
7位	大分県
8位	新潟県
9位	長崎県
10位	宮崎県
11位	高知県
12位	栃木県
13位	鹿児島県
14位	愛媛県
15位	富山県
16位	神奈川県
17位	群馬県
18位	熊本県
19位	福島県
20位	秋田県

平成29年

順位	県名
1位	長野県
2位	山梨県
3位	静岡県
4位	広島県
5位	新潟県
6位	福岡県
7位	岡山県
8位	福島県
9位	宮崎県
10位	富山県
11位	愛媛県
12位	高知県
13位	和歌山県
14位	群馬県
15位	山口県
16位	北海道
17位	大分県
18位	栃木県
19位	長崎県
20位	宮城県

■ 中山間地域へのサテライトオフィス進出の第1号が決まりました

廃校施設などの地域資源を活用した、首都圏のIT企業等のサテライトオフィス誘致に、県と市町が連携して取組み、平成30年12月に安芸高田市に進出第1号となる企業が決定

【進出企業の概要】

企業名	(株)あしたのチーム
事業内容	クラウド型人事評価システムの開発、販売等
協定調印	平成30年12月4日
開設時期	平成31年 春
開設場所	安芸高田市 JR向原駅舎(3F)
雇用計画	現地雇用を段階的に10人以上



お試しオフィス一覧

モニターツアー
▶11/1(木)–11/2(金)

三原市

MIHARA

旧和木小学校
(大和町和木)



Access

広島空港から車で約15分

Sales Point

空港から15分の立地

廣研吾氏の監督による
リノベーション施設

周辺に病院などの
生活関連施設のほか、
数楽道やスポーツ施設が充実

▶10/4(木)–10/5(金)

庄原市

SHOBARA

総領中学校旧寄宿舎
(総領町宿禰)



Access

広島空港から車で約70分

Sales Point

スキーや登山など、
過半での余暇活動が可能

比婆牛や食味コンテスト受賞の
米など食材の宝庫

国営備北丘陵公園で
リフレッシュ

▶11/8(木)–11/9(金)

江田島市

ETAJIMA

フウド(風・海・土)
(旧沖美就業改善センター)



Access

広島駅から車・フェリーで約70分
(宇品～高田港 約30分)

Sales Point

多島美の瀬戸内海を望む
生活環境

いつでも釣りや
SUPなどができる環境

▶9/28(金)–9/29(土)

安芸高田市

AKITAKATA

緑の交流空間
(美土里町本郷)



Access

広島駅から車で約60分

Sales Point

市内の主要都市まで、
約1時間で行ける立地環境

360°山に囲まれた穏やかな風景

ゴルフ場・カヌー場等
レジャー環境が充実

▶10/30(火)–10/31(水)

大崎上島町

OSAKIKAMIJIMA

旧商工会木江支所
(木江字正島)



Access

広島空港から
乗合タクシー・高速船で約60分

Sales Point

温暖な気候と離島による、
瀬戸内海の魅力を満喫できる環境

「教育の島交流基本構想」で
教育の島を推進

▶10/11(木)–10/12(金)
▶11/2(金)–11/3(土)

神石高原町

JINSEKIKOGEN

油木山村開発センター
(油木地区)



Access

福山駅から車で約60分

Sales Point

気温の差を生かし、
農作物が非常に美味しい

地震や台風などの
災害リスクが低い

オフィス・居住物件の紹介など、各市町が本格進出の相談にワンストップで対応します。

上記①～④は「お試し勤務」の施設です。



■ 「広島ならではの」が増えました ～レモン関連商品の増加

年間を通じた消費ニーズに応える周年供給体制を構築するとともに、インパクトを重視したプロモーションの実施や民間と連携した販売促進などにより、「広島ならではの」のブランドとして、レモンの認知度が向上し、販路の拡大や関連商品の増加を背景に、レモンの生産額も大きく増加



レモン生産量は倍増

(H22) 3,402 トン ⇒ (H27) 6,350 トン



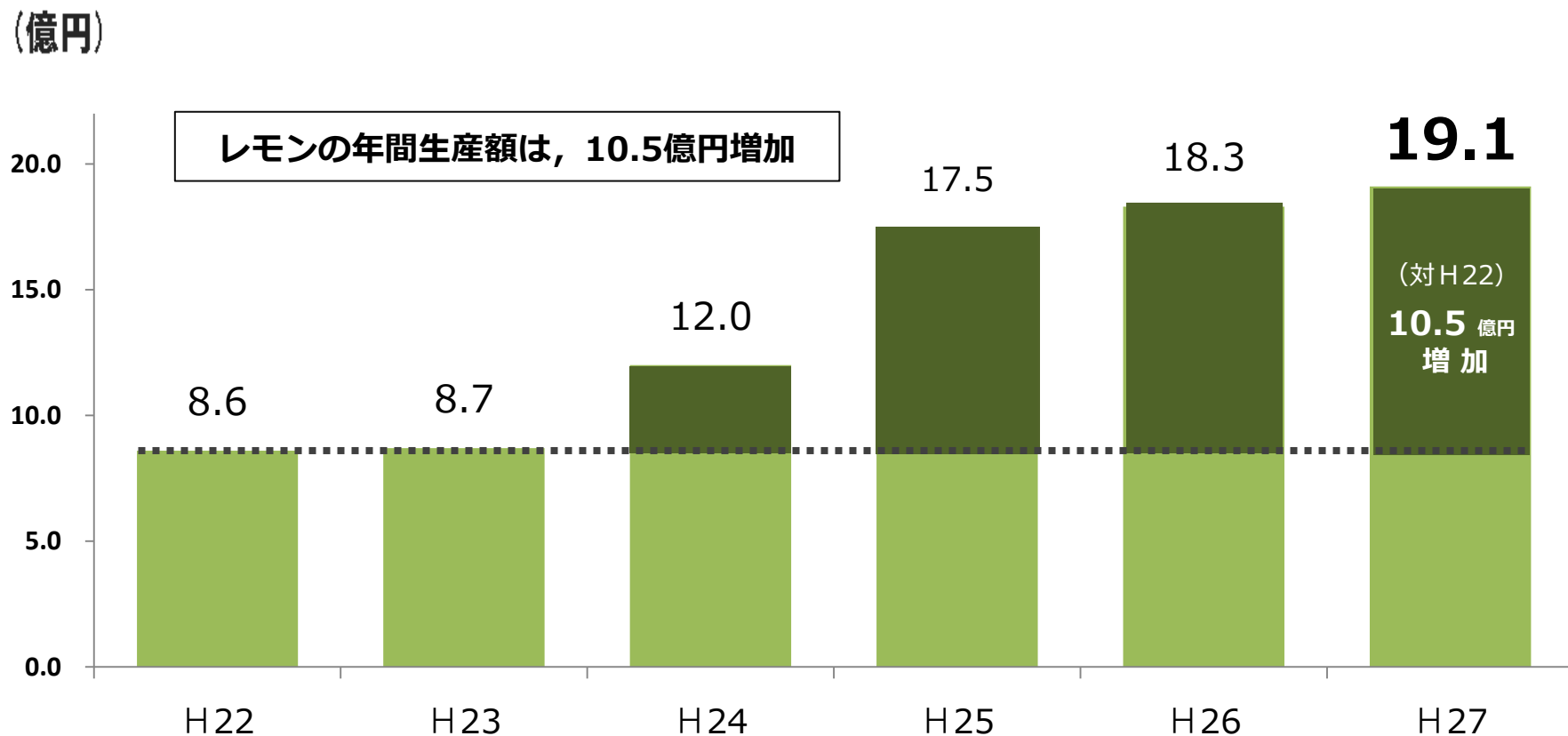
駅の「みやげ」ショップに
関連商品が増加

- 瀬戸内レモンの認知度が向上
(首都圏) H25 : 56.7% ⇒ H27 : 75.0%
(関西圏) H25 : 56.3% ⇒ H27 : 70.3%
- 瀬戸内レモンの関連商品が増加
(T A U取扱商品)
H25 : 95商品 ⇒ H28 : 164商品
(瀬戸内ブランド登録商品)
H25 : 38商品 ⇒ H28 : 194商品



量販店のレモン売り場も増加

年間生産額の推移



生活環境 づくり

■ 13年ぶりに庄原市内で分娩が再開しました

医療従事者が不足しがちな地域において、県が進めてきた「地域医療連携推進法人」制度のメリットを生かして「備北メディカル・ネットワーク」が設立され、人材確保に向けた医療機関連携や庄原市をはじめとした関係機関による支援により、平成17年4月から受入を休止していた「庄原赤十字病院」で、13年ぶりとなる平成30年4月から産科診療が再開

【地域医療連携推進法人 備北メディカル・ネットワーク】

設立時期	平成29年4月2日 認定（全国 初認定）
参加病院	<ul style="list-style-type: none">・ 市立三次中央病院（三次市）・ 庄原市立西城市民病院（庄原市）・ 三次地区医療センター（一般社団法人 三次地区医師会）・ 総合病院庄原赤十字病院（日本赤十字社）
連携業務	<ul style="list-style-type: none">➢ 医療従事者の確保・育成➢ 地域包括ケアの推進➢ 共同研修・共同購入



生活環境 づくり

■ 中山間地域の医療を支える若手医師が育ってきました

中山間地域に必要な医療体制を確保・維持していくため、広島大学や岡山大学と連携して確保・育成してきた「地域医療を志す医学生」が、卒業後、2年間の初期臨床研修を修了して中山間地域の指定医療機関等での勤務をスタート

【地域枠制度の概要】

開設時期	平成21年度～
種別	・広島大学 ふるさと枠 (H31入学定員：18名) ・岡山大学 地域枠 (H31入学定員：2名)
内容	➢ 広島県医師育成奨学金貸与 ➢ 地域医療セミナー等による地域医療マインド醸成



地域枠医師数 (見込み)

